

語学力の伸長

帰国生徒が海外で習得した語学力の維持、伸長をはかる指導をおこなっています。全コースに関して会話、表現力、思考力を養うカリキュラムが組まれています。また、英語以外の外国語としてドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語のクラスを開設し、きめの細かい語学教育をおこなっています。



コミュニケーションセンター

コミュニケーションセンターは、さまざまなメディアを扱う学習情報センターです。書籍、雑誌、新聞、CD-ROM、オンラインデータベース、インターネットなどを通じて学習情報を収集するとともに、収集した情報を構築し、他者に提示していくための場でもあります。センター内のどこからでもインターネットに接続できるネットワーク環境が整備されています。従来のコンピューター教育にとどまらないで、各教科はもちろんのこと教科を越えた分野でも、学びの一つのTool（道具）としてコンピューターを使用する実践がなされています。センター内では、同時に5クラスの授業をおこなうことができ、書籍やWWWといった異なるメディアへのアクセスを利用しながらの授業も可能な環境です。

Beyond Technology テクノロジーを越えて

コミュニケーションセンターでの教育は、単にコンピューターリテラシーを向上させる教育ではなく、根本的に「学ぶ」ということは何であるかという問いかけを基本においています。高等学校1年生にはセンターにおける学習の基礎となるCommunication & Mediaという必須科目が設定されており、基本的なリサーチスキル、効果的なプレゼンテーション方法の他、自ら学ぶ力の基礎をつけていくことを目指しています。なお、センターでの教育成果は、ホームページ上でごらんいただけます。

推薦進学制度

- 1、本校中学校の卒業生は、原則として、同志社国際高等学校に推薦入学することができます。
- 2、本校高等学校の卒業生には、同志社大学および同志社女子大学へ推薦により進学する道が開かれています。毎年、高校卒業生の90パーセント以上が推薦により両大学に進学しています。

学寮生活（高等学校）

男子寮・女子寮があり、教育寮として、寮生一人ひとりに対してきめのこまかい指導をおこなっています。

帰国生徒入試 概要

募集定員 1年生（中学60名）（高校120名）

●中学校

入試時期	試験地	選考方法
1月	京都（本校）	A選考
		B選考
7月	京都（本校）	A選考
		B選考

選考方法 A選考：面接・作文・書類審査
B選考：国語・算数・理科・社会

●高等学校

入試時期	試験地	選考方法
12月	ニューヨーク・ロサンゼルス ロンドン・シンガポール 京都（本校）	A選考 特別推薦
	シンガポール 京都（本校）	B選考
2月	京都（本校）	A選考 B選考
7月	京都（本校）	A選考 B選考

選考方法 特別推薦：資格・面接・書類審査
A選考：面接・小論文・書類審査
B選考：国語・数学・英語

帰国児童対象英語伸長プログラム

帰国児童（小3年～小6）のための英語伸長プログラムDIVE（土曜プログラム）が2005年度より始まりました。詳しくはホームページをご覧ください。

